

もっと
はなのつ
市議会

令和5(2023)年8月1日号 No.168



Point

P2 森林整備事業費補助金(生活対策森林伐採事業補助金)など可決

P6 12人の議員が一般質問

6月 議会は、6月2日から6月20日までの19日間開かれ、市長提出議案25件、請願3件、その他1件について審議等を行い、全て**議決**しました。
6月議会で議決した主な議案は、次のとおりです。



全ての議案はこちらから

【議案第42号】令和5年度飯能市一般会計補正予算（第4号）

- ・森林整備事業費補助金（生活対策森林伐採事業補助金）を計上

問 補助の内容は？

答 道路に隣接する森林の場合は事業実施額の3分の2で交付限度額30万円、建築物に隣接する森林の場合は事業実施額の3分の1で交付限度額15万円となる。



【議案第44号】令和5年度飯能市一般会計補正予算（第5号）

- ・電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用した地域の居場所づくり事業継続支援金

問 給付金の支給対象者は？

答 物価高騰の影響を受けながら限られた予算の中で地域住民の居場所づくりに真摯に取り組んでいる団体が継続して事業実施できるよう財政的支援を行うもの。支援金は1団体当たり地域福祉推進組織10万円、ふれあい・いきいきサロン5万円となる。



【議案第44号】令和5年度飯能市一般会計補正予算（第5号）

- ・電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用した住民税均等割のみ課税世帯に対する価格高騰重点支援給付金

問 給付金の支給対象者は？

答 令和5年6月1日に本市に住民登録があり、令和5年度住民税均等割のみ課税されている方で構成される世帯、または住民税均等割のみ課税されている方及び住民税非課税の方で構成される世帯。1世帯当たり1万5千円を9月上旬から支給予定。



【議案第44号】令和5年度飯能市一般会計補正予算（第5号）

- ・電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援地方交付金を活用したキャッシュレス型消費活性化事業補助金

問 補助の内容は？

答 対象店舗で特定のキャッシュレス決済を利用して支払いをすると、決済額に応じてポイントが還元されるもので、過去3回実施してきた。今回は還元率を初の30%とし、9月から10月の2か月間実施する。



議案質疑を経て、議案は3つの **常任委員会** に付託され、詳細に審査しました。

飯能市税条例の一部を 改正する条例

問 令和6年度から賦課される森林環境税とは？

答 森林の有する公益的機能を維持・増進するため、来年度から個人に対して課税される国税。年額1,000円が徴収されるが、来年度は市県民税均等割がその分減額され実質的な増税にはならない。

財産の取得について

問 消防車の更新時期は？

答 飯能消防団の消防車等の整備計画に基づいて購入から概ね20年を目安に更新している。今回更新する第10分団の車両は平成15年1月に購入し、20年が経過している車両である。

総務教育 委員会

委員長 梶田 博之
副委員長 長谷川 順子
委員 武田 一宏
中元 太
大津 力
新井 巧

専決処分の承認を求めることについて（飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）

問 軽減措置の拡大とは？

答 地方税法施行令の一部が改正されたことに伴い、本市においても同様の措置をとるもの。5割軽減と2割軽減が拡大され、対象人数はそれぞれ約2,600人、7割軽減まで含めると約8,800人となる。

令和5年度飯能市一般会計 補正予算（第4号）

問 児童福祉寄付金の使途は？

答 青梅信用金庫からの寄附。子どもたちの支援に活用してほしいとのことで、子育て総合センター内の子育て支援拠点で使用する遊具を購入する予定。

生活福祉 委員会

委員長 関田 直子
副委員長 熊田 尚子
委員 パタソンひとみ
金子 敏江
加藤由貴夫
鳥居 誠明

令和5年度飯能市一般会計補正予算（第4号）

問 道路維持管理事業の内容は？

答 市道1-2712号線（飯能駅南口駅前通り線）及び市道1-1680-1号線（富士見通り）の舗装打換にかかる工事請負費を増額するもの。年内には完了する予定。

問 阿須小久保線の整備にかかる土地購入の状況は？

答 双柳南部工区については当初予算6件にさらに6件を追加し、平米単価は概ね8万円程度。岩沢工区については当初予算3件に4件を追加し、平米単価は概ね7万円台となる。

経済建設 委員会

委員長 坂井 悦子
副委員長 野田 直人
委員 栗原 義幸
野口 和彦
滝沢 修
加涌 弘貴

令和5年6月定例会 議決結果

■賛否が分かれた議案

※表の見方：○は賛成の議員、×は反対の議員

議案番号	議案名	議席番号・議員名																			議決結果
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	12	13	14	15	16	17	18	19		
		熊田尚子	長谷川順子	武田一宏	バツンひとみ	坂井悦子	栗原義幸	中元太	関田直子	大津力	野口和彦	梶田博之	滝沢修	新井巧	金子敏江	加藤由貴夫	鳥居誠明	加浦弘貴	野田直人		
40	飯能市印鑑条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	—	○	○	○		
42	令和5年度飯能市一般会計補正予算（第4号）	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	—	○	○	○		
請願1	「再審法（刑事訴訟法の再審規定）」の改正を求める意見書採択の請願書	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	—	○	○	○		

※加藤由貴夫議員は議長のため、採決には加わっていません。

■全会一致の議案

議案番号	議案名	議決結果
41	令和5年度飯能市一般会計補正予算（第3号）	原案可決
33	専決処分承認を求めることについて（飯能市税条例の一部を改正する条例）	承認
34	専決処分承認を求めることについて（飯能市都市計画税条例の一部を改正する条例）	承認
35	専決処分承認を求めることについて（飯能市国民健康保険税条例の一部を改正する条例）	承認
36	専決処分承認を求めることについて（令和5年度飯能市一般会計補正予算（第2号））	承認
37	飯能市税条例の一部を改正する条例	原案可決
38	飯能市児童福祉審議会条例の一部を改正する条例	原案可決
39	飯能市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
43	財産の取得について	原案可決
請願2-1	小中学校及び保育所（園）給食の無料化を求める請願書	趣旨採択
請願2-2	小中学校及び保育所（園）給食の無料化を求める請願書	趣旨採択
44	令和5年度飯能市一般会計補正予算（第5号）	原案可決
45	令和5年度飯能市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
46	令和5年度飯能市下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決
諮問1	人権擁護委員候補者の推薦について（須田 浩 氏）	異議はない
47	農業委員会委員の任命について（新井 安典 氏）	同意
48	農業委員会委員の任命について（江原 良弘 氏）	同意
49	農業委員会委員の任命について（大河原 佐智子 氏）	同意
50	農業委員会委員の任命について（大久保 博司 氏）	同意
51	農業委員会委員の任命について（大野 忠司 氏）	同意
52	農業委員会委員の任命について（小川 英之 氏）	同意
53	農業委員会委員の任命について（肥沼 健一 氏）	同意
54	農業委員会委員の任命について（小谷野 伸一 氏）	同意
55	農業委員会委員の任命について（萩野谷 利男 氏）	同意
56	農業委員会委員の任命について（綿貫 由美子 氏）	同意
	議員派遣の件	派遣

※請願2-1と請願2-2については、内容が2以上の委員会の所管に属するため2つの請願として付託されました。

議員表彰

全国・埼玉県の各市議会議長会定期総会において、30年以上市議会議員の職にある者として、金子敏江議員が表彰を受けました。



金子 敏江 議員

全国・埼玉県の各市議会議長会定期総会において、10年以上市議会議員の職にある者として、大津力議員、野口和彦議員が表彰を受けました。



大津 力 議員



野口 和彦 議員

人事案件

人権擁護委員候補者の推薦について

人権擁護委員 須田浩氏が令和5年9月30日をもって任期満了となるので、引き続き同氏を推薦することについて、全員異議はありませんでした。



須田 浩氏

農業委員会委員の任命について

農業委員会委員が令和5年7月19日をもって任期満了となるので、引き続き江原良弘氏、大河原佐智子氏、大久保博司氏、肥沼健一氏、小谷野伸一氏、綿貫由美子氏を、新たに新井安典氏、大野忠司氏、小川英之氏、萩野谷利男氏を任命することについて、全員同意しました。



新井 安典氏



江原 良弘氏



大河原 佐智子氏



大久保 博司氏



大野 忠司氏



小川 英之氏



肥沼 健一氏



小谷野 伸一氏



萩野谷 利男氏



綿貫 由美子氏

市政に対する

一 般 質 問



飯能市イメージキャラクター
夢馬(むーま)

一般質問とは、市の行政全般について市長(執行部)に対し、議員がそれぞれの視点から質問し、説明を求めるものです。

質問する議員は、質問内容を事前に通告します。本会議における持ち時間は1人60分以内です。

原稿は、質問者自らが執筆したものを発言順に掲載しています。今回は12人の議員が登壇しました。

一般質問の様子は、インターネット録画配信をしています。掲載されている二次元コードから、該当議員の動画をご覧ください。

()の中は会派名です。



関田 直子 (関トストはんのう)

こどもまんなか社会について
区画整理事業について
森林の情報整備について



問 有意義な育休の為に両親学級の内容・開催曜日の再検討を。

答 男性が育児に参加する環境づくりは大切。声を聞きながら有益な事業展開をする。

問 国よりR5年度以降、週末の部活動の段階的な地域移行が示された。飯能市の状況は。

答 今年度、検討委員会を立ち上げ協議する。

問 中学生子ども議会。生活の場である学校の課題に対し自ら考え改善する力をつける為にも、市制施行70周年記念事業で終えず教育現場での実現を。

答 現在行われている「話し合い活動等」の民主主義の根底となる活動を指導・支援していく。

問 区画整理事業開始直後に建物移転も、未だ道路整備がなされていない箇所を早期整備を望む。

答 不具合の状況を点検しながら、効果的な維持修繕に努める。

問 元加治第4号と第5号踏切道の廃止予定の元加治第5号踏切道

答 元加治第4号と第5号踏切道の廃止予定の元加治第5号踏切道

問 元加治第4号と第5号踏切道の廃止予定の元加治第5号踏切道

答 元加治第4号と第5号踏切道の廃止予定の元加治第5号踏切道



廃止予定の元加治第5号踏切道 (本人撮影)

問 統廃合に関する説明会を希望。現在、整備時期を含め関係機関と調整中。整備概要が整った時期に地元の皆様に説明する。

答 森林境界明確化の早期完了を。今後のスケジュールは？

問 R5~7年度は基礎調査。R8年度スタートを想定。航空レーザー測量等最新技術で様々な負担軽減を図り効率的に推進する。



野口 和彦 (参政党)

美杉台地区防犯カメラ設置要望
7丁目管理地をドッグランへ
あさひ山展望公園管理の強化を



問

美杉台地域では発砲事件や殺人事件など凶悪犯罪が近年起こっている。安全対策として、自治会美杉台支部前自治会長と加浦議員と野口で市長へ防犯カメラ設置補助の要望にも伺った。その後の検討状況は？

答

市長の指示により要望に合わせた制度創設の検討を始めた。安心安全のため早期の対応を要望する。

要望

美杉台7丁目の一般廃棄物最終処分場管理地を有効活用出来ないか？美杉台は犬を飼っている世帯が多く、ドッグランとして開放出来ないか？

要望

変わらず立入制限で管理する。協定書には周辺が住宅用地としてこの土地を便利に使えるように努力するとある。最終処分地としてガスが出るなら煙突を立てれば良いし、以前仮のゴミ集積場として利用したが問題なかった。考えを改めまずはドッグ

問

ランとしての開放を要望する。あさひ山展望公園の夜間騒音対策を強化すべきだが対策は？

答

自治会、パトロール実施に感謝している。警察と協力して強化し職員も参加する。

要望

一部の人間の迷惑で公園利用の規制を強化するのではなく、適切に利用している方にも使いやすく管理すべき。日中は公園管理の巡回を入れ、夜間は警備を配置するように要望する。



出典：Google map



熊田 尚子 (公明党)

ふくしの総合相談窓口について
子ども部設置、女性管理職登用
不登校支援、木育推進



問

市民が相談しやすい体制作りと関係機関の情報共有・連携強化の推進のために、「ふくしの総合相談窓口」を開設できないか。

答

包括的な相談支援体制の在り方、重層的支援体制整備事業の導入の検討の中で、相談体制の強化・検討に努める。

問

子どもと家庭を総合的に支えていく体制整備のために「子ども部」の設置を。

答

子ども・子育て世帯を支援していく部署の設置に向け、行政組織の見直しを進めていく。

問

市職員の女性管理職登用の取り組みについて。

答

女性職員が意思決定の過程に関与することは、組織の多様性、市民サービスの向上につながるものと考えている。能力が発揮できる職場環境を整えていく。

問

誰一人取り残さない学びの保障のため、小中学校に「校内の居場所」の環境整備と人員配置を。

問

西川材を活用して積極的に幼児への木育の取り組みを。

答

木育事業の展開は大変有意義。関係部署と連携、研究していく。



出典：文部科学省ホームページ

答

心に寄り添える教職員の研修体制を充実。専門性の高い人員配置について検討していく。

問

不登校支援の民間との連携、保護者支援・保護者の会の状況は。

答

NPO等との連携を強化し、指導要録上の出席扱いについては検討していく。保護者の会と不登校対策チームを立ち上げる。

問

木育事業の展開は大変有意義。関係部署と連携、研究していく。



中元 太 (公明党)

手話言語条例と通訳派遣制度
教育の目的は『子どもの幸福』
第二地区と精明地区の事業支援



問 全ての人(子どもも障がい者も高齢者も)が集まれるインクルーシブ公園の設置を。

障害の有無や年齢、性別に関わらず、誰もが楽しめる公園の提供に努めるようインクルーシブ遊具の導入も含め検討する。

答 情報の保障。防災マップ等防災情報のバリアフリー化を。

まだ進んでいない。検討、研究していく。

問 飯能市の手話言語条例制定を。

新井市長の強い思いから、手話言語条例の制定を含め支援を進めるよう指示があった。計画の施策に取り入れ、関係団体等と情報を共有し、手話言語条例の制定や障害者福祉の推進に向けて準備を進めていく。

問 飯能市の手話言語条例制定を。

新井市長の強い思いから、手話言語条例の制定を含め支援を進めるよう指示があった。計画の施策に取り入れ、関係団体等と情報を共有し、手話言語条例の制定や障害者福祉の推進に向けて準備を進めていく。

問 飯能市の手話言語条例制定を。

新井市長の強い思いから、手話言語条例の制定を含め支援を進めるよう指示があった。計画の施策に取り入れ、関係団体等と情報を共有し、手話言語条例の制定や障害者福祉の推進に向けて準備を進めていく。

問 飯能市の手話言語条例制定を。

新井市長の強い思いから、手話言語条例の制定を含め支援を進めるよう指示があった。計画の施策に取り入れ、関係団体等と情報を共有し、手話言語条例の制定や障害者福祉の推進に向けて準備を進めていく。

問 飯能市の手話言語条例制定を。

新井市長の強い思いから、手話言語条例の制定を含め支援を進めるよう指示があった。計画の施策に取り入れ、関係団体等と情報を共有し、手話言語条例の制定や障害者福祉の推進に向けて準備を進めていく。

公園から、まちが変わる。未来が変わる。



出典: Yahoo! JAPAN SDGs

問 带状疱疹予防ワクチン接種の助成を。

前向きに検討したい。

問 前向きに検討したい。

まずは子育て世代への支援として小・中学生ヘルメット購入費の助成。できれば高齢者へも拡充を。

問 様々な可能性を検討する。

教育の目的は子どもの幸福である。不登校児童生徒への大きな一歩を踏み出す時に来ている。

問 飯能南校舎を不登校特例校に。

設置予定はないが研究を深める。

問 設置予定はないが研究を深める。

設置予定はないが研究を深める。

問 設置予定はないが研究を深める。

設置予定はないが研究を深める。

問 設置予定はないが研究を深める。

設置予定はないが研究を深める。



梶田 博之 (無所属)

一人にさせない地域を作るために、
放課後児童の居場所問題、
AGC脇市道改良工事の進捗は



問 市内の子ども会の現状はどうなっているか。

市子連は平成26年に解散しているが、その後は地域ごとに活動を続けている。

問 自治会加入率が低下し、市の活動にも影響が出たり子どもたちのつながりも弱くなっているが、市の対応は?

加入率低下は、全国的に深刻な問題である。先進事例などを参考に自治会活動を支援したい。

問 子どもたちのさらなる居場所づくりが求められているが。

児童クラブだけでなく、地域で見守り活動を行っている団体との協力・連携を強め、必要な環境整備を進めていきたい。

問 AGC脇から矢川橋への市道は改良が決定されているはずだが、工事の進捗状況は?

今年度は詳細設計を行う。その後用地測量、用地物件補償、工事という流れになる。

問 今年度は詳細設計を行う。その後用地測量、用地物件補償、工事という流れになる。

今年度は詳細設計を行う。その後用地測量、用地物件補償、工事という流れになる。

問 今年度は詳細設計を行う。その後用地測量、用地物件補償、工事という流れになる。

今年度は詳細設計を行う。その後用地測量、用地物件補償、工事という流れになる。

問 今年度は詳細設計を行う。その後用地測量、用地物件補償、工事という流れになる。

今年度は詳細設計を行う。その後用地測量、用地物件補償、工事という流れになる。

川寺自治会館前の市道1-1-1号線 (本人撮影)



AGC脇の市道 (本人撮影)

問 川寺の神明神社前の市道のカーブは見通しも悪く、危険である。改良できないか。

区画整理の状況も含めて事業化の判断をしたい。

問 区画整理の状況も含めて事業化の判断をしたい。

路線バス利用者は、停留所と自宅間の移動に苦慮している。この間をつなぐ交通を考えてもらいたい。

問 本年飯能市政施行70周年記念事業の「子ども議会」は非常に良い教育事業である。毎年でも催すべきである。

本年飯能市政施行70周年記念事業の「子ども議会」は非常に良い教育事業である。毎年でも催すべきである。

問 本年飯能市政施行70周年記念事業の「子ども議会」は非常に良い教育事業である。毎年でも催すべきである。

本年飯能市政施行70周年記念事業の「子ども議会」は非常に良い教育事業である。毎年でも催すべきである。



新井 巧 (日本共産党)

マイナ保険証でなくても医療が受けられる「資格確認書」は申請なしで交付を



問

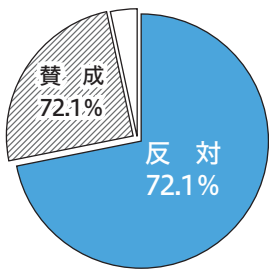
国は健康保険証を廃止してマイナンバーカードに統一する法改正を強行。廃止後はマイナ保険証で受診し、これがない人は、「資格確認書」という保険証に変わるものを発行することになる。有効期間は1年で本人の申請により交付するとしている。

要望

切に対応していきたい。「保険証廃止反対の世論は7割超であり、読売新聞も社説で、『見直しは今からでも遅くない。立ち止まって検証を』と求めている。市民の不安な声を聞き、同時に市内医療機関の実態を調べ、地方自治体として国に見直しを求める声を上げるべきだ」と強く求める。

答

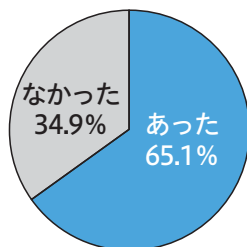
資格確認書について丁寧な説明を行い、安心して医療機関で受診できるように努めていきたい。資格確認書の申請がない場合は、保険者(市)の判断で交付することを可能とする対応を考えているが、国の動向を注視し、適



健康保険証廃止しマイナカード利用

出典：共同通信世論調査

オンライン資格確認導入後トラブルはあったか



出典：全国保険医団体連合会調べ



パタソン ひとみ (参政党)

支障木対策、道路狭隘の消防車、おくやみ窓口、農業推進、道の駅、オーガニックビレッジ宣言



問

倒木や支障木に対応した補助金の申請枠の増額を。

答

今議会でも補助金枠をさらに500万円増額し、対応する。

問

道路狭隘、線路高架下の消防車両が入れない地域の対応を。

答

道路拡幅は難しい。吾野・東吾野地区の車両の進入困難な箇所が7箇所、架道橋が5箇所あり安全確保迅速な活動で対応していく。

問

おくやみ窓口の新設で手続きの負担軽減の対応を。

答

おくやみハンドブックを活用し、ワンストップの窓口と同様のサービスを実施していく。

問

地場産農業生産出額が毎年減少しているが、対策は?

答

県やJAさんとも連携し、学ぶ機会や新規就農者への補助金制度の紹介、農地マッチングの支援をおこなっている。

問

精明地区、飯能産の農畜産物を道の駅に取入れ、地域活性化の

答

積極的な取り組みを。

問

飯能ブランド野菜づくりなどで差別化し、地域活性化、農業振興に繋がるよう検討していく。

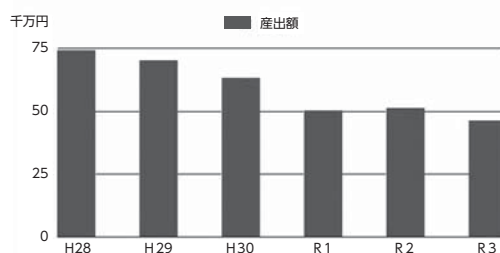
答

安心安全、持続可能な農業振興にオーガニックビレッジ宣言プロジェクトを取り入れ、減少している地場産農業の活性化や食環境の積極的な対応を。

問

行く予定はないが、有機農法への正しい知見を深め慣行農法との共存を確認し取組んでいく。

農業産出額



出典：政府統計総合窓口



長谷川 順子（無所属）

教育環境の整備

阿須山中有効活用事業の不明点

自然環境保全・川の水质調査



問

ステップアップルームが市内中学校一校に開設されたが、その目的と利用方法など詳細を。

答

30日以上長期欠席が多い飯能第一中学校に開設。支援員2名を配置、生徒3、5名が日課表に合わせ常時使用となっている。

問

生徒主体で議論を交わし、校則を見直した学校はあるのか。

答

昨年度から今年度にかけて4校が変更。どの学校も毎年見直しを行っている。

問

土地貸付料を決めるにあたり、議会にかけたことはあるか。

答

議会にかけた必要がないと考えている。

問

土地貸付料は、前市長が市長専決処分したということか。

答

専決処分の事実はない。飯能インターナショナル・スポーツアカデミーからの報告書に

問

収支報告が見当たらない。これで事業が適正に成り立っていると市は判断ができるのか。



6月 阿須山中
草の生えていないパネル下（本人撮影）

答

事業者の収支決算確定後、別途報告される見込み。

問

事業地の除草に除草剤は使うか。

答

太陽光発電用地は使わない。唐沢川で白い泡が出ると異変を知らせる住民に対し、事業者アカデミーにこの泡について説明を求めたのか。

答

説明では、太陽光発電パネル下のウッドチップの灰汁が雨で流れた。確かな要因は不明のため、県西部環境管理事務所が原因を調査している。



滝沢 修（日本共産党）

双柳岩沢線などの交通安全対策

阿須ガード拡幅に伴う迂回路対策について



問

阿須小久保線、岩沢陸橋が開通し交通動線が大きく変わった。通行車両が増加し大型車両の通行も目立つ。交差する従前の道路も多数あり一時停止のない交差点もある。交通事故防止のため総点検が必要だ。

答

区画整理事業が進み道路環境が大きく変わった。便利になったとの声がある一方で安全対策が必要との声もある。道路整備だけでなく、安全対策も継続的に検討する。

問

阿須ガード拡幅に伴う県道富岡入間線の通行止めについて夏ごろまでに地元へ報告、工事に着手するとされている。県のホームページでは、工事中の迂回路が阿須小久保線や双柳岩沢線、加治小前の市道が迂回路として指定されている。昼間12時間で8000台もの通行量がある道路の迂回路に住民の生活や歩行者の安全面を重視しなければ

答

ならない道路を指定する事は避けるべきであり、見直しが必要だ。県に確認したところ、大型車両などは、国道、県道などへ案内する考えであり、市道については市街地内を移動する生活車両の迂回を想定しているとのことであった。市としても通行止めにより、急激な交通流入が生じないよう、広域迂回の実施と双柳岩沢線や加治小周辺の安全対策を県と協議していく。



大型車両が増加した双柳岩沢線（本人撮影）



坂井 悦子 (日本維新の会)

子育て世代に選ばれるビジョン
教育の平等・学びの機会拡充
産後ケア支援の拡充



問 教育ニーズや学力向上の対応をどう施策に反映させているか。

答 学びの改革推進により、学力調査結果や自己肯定感向上等に成果が出ており、更に推進する。

問 放課後子ども教室はニーズが高く、子育て世代の転出抑制、転入促進施策として展開しては。

答 まずは小規模特認校の魅力づくりとして実施し、今後は検討。

問 飯能第一小学校、中央地区行政センター、放課後児童クラブの建替え及び複合化について。防犯、安全、教育環境保持、波及効果等の対策は。

答 今年度より具体的に検討、計画する。情報発信にも努める。

問 完成までの6年間、施設環境やサービス維持の対応は。

答 一小は、使用頻度の高いトイレ等は都度修繕し学習環境を保持。放課後児童クラブは、既に環境改善を検討中。中央地区行政センターは、出来る工夫を職員一



中央地区行政センターの急な階段 (本人撮影)

問 同で凝らしていく。

答 資金確保に向けた基金積立や支出見直し、再分配等の方針は。

問 今後の整備方針を検討、様々な方法を活用し財政部門と協議。

答 産後ケア支援の拡充へ、ダイア

問 各市と連携を進める検討は。

答 広域連携の予定はないが、他市を参考に充実を図る。

問 市で初めての多胎児支援の多胎児加算が創設された。拡充は。

答 利用実績はまだなく、今後更なる発展が出来るよう努める。

問 同で凝らしていく。

答 資金確保に向けた基金積立や支出見直し、再分配等の方針は。

問 今後の整備方針を検討、様々な方法を活用し財政部門と協議。

答 産後ケア支援の拡充へ、ダイア

問 各市と連携を進める検討は。

答 広域連携の予定はないが、他市を参考に充実を図る。

問 市で初めての多胎児支援の多胎児加算が創設された。拡充は。

答 利用実績はまだなく、今後更なる発展が出来るよう努める。



金子 敏江 (日本共産党)

スケートボード広場の整備を
0歳〜2歳児のさらなる保育料
軽減を



問 スケートボードがオリンピックの公式種目となったことでスケートボードの人气が高まり自治体がスケートボード場を整備する動きがある。飯能市としても若者世代が住んで楽しいと思える街づくりが必要と考える。ぜひ、検討してほしい。

答 若者世代の定住促進や交流人口増加の方策、若者世代の魅力ある街づくりの一環として、市長の公約である若い世代の定住促進、スポーツ施設の改修・整備の一つに位置づけ、すでに昨年度、具体的な検討を始めるよう市長が担当部署に指示を出した。他市の事例の調査や様々な角度から検討している最中で、今後それらの諸条件を整理した上で庁内議論へと考えている。

問 3歳〜5歳児の保育料は無料となった。しかし、0歳〜2歳児の保育料は、飯能市独自に第3子以降無料、第2子半額等の軽減を

答 減措置があるが、今は、経済的に子どもを3人持てる家庭は少なく、子ども2人の家庭が増えている。今の実態に合わせて第2子以降無料、第1子半額へとさらなる保育料軽減を検討してほしい。

問 第3子以降等の子にかかる保育料軽減は279人、軽減額は約6300万円である。確かに軽減世帯は減少しているが、今後、国から示される支援策を注視していきたいと考える。

答 第3子以降等の子にかかる保育料軽減は279人、軽減額は約6300万円である。確かに軽減世帯は減少しているが、今後、国から示される支援策を注視していきたいと考える。



子どもの健やかな育ちと安全を



鳥居 誠明 (飯能みらい)

1 防災、2 地域の課題・阿岩橋下河川汚染、南小畦川改修、平松道路、虎秀川、細田林道について



問

地震ハザードマップで震度6強は消防署付近。緊急車両の出勤について消防署との協議結果は。

答

迂回路を考え、道路復旧を図る。以前の想定避難者は1万6千人、現在414人。備蓄品目や数は。備蓄品目、数量は今後見直す。

問

地域と学校が合同で防災訓練を。合同訓練が出来るよう依頼する。役員さんだけの冬、夜間訓練を。

答

自主防災会と対話し、進めたい。避難所で床に座る、寝るは辛い。段ボールベッドの手配状況は。

問

民間業者と応援協定を締結した。パイプ椅子を代用ベッドにして。有効な手段なので周知したい。

答

庁内に防災連絡協議会の設置を。四半期毎の訓練を指示した。

問

国は自分の命は自分で守ってと、市長はどう市民に伝えるか。市民との対話の中で伝えていく。

答

阿岩橋下はBODが高いが。加治橋、阿岩橋間の測定を追加。南小畦川改修工事の今後の計画。



パイプ椅子による代用ベッド(本人撮影)

問

県と連携し事業進捗に協力する。橋付近道路と側溝の段差解消を。道路拡幅必要と感じ検討したい。

答

平松のS字カーブ、下加治の靖和病院横の交差点の工事進捗は。共に用地取得後に工事着手する。

問

下加治交差点は県の管理。虎秀川は護岸基礎等削れて危険。県の管理で令和4年度から着手。

答

南高麗地区細田林道の路肩、路面が危険。崩壊すると孤立する。道路管理者は西川広域森林組合なので対応策検討を申し入れる。

請願・陳情の提出方法について

…市民の声を市政に…



署名簿(例)

住所	氏名	印

本文(例)

〇〇〇に関する請願
 (趣旨)

 以上、地方自治法第124条の規定により請願いたします。
 令和 年 月 日
 住所
 氏名
 ◎
 外〇名
 紹介議員 ◇◇◇◇
 同 ▼▼▼▼
 同 □□□□
 飯能市議会議長 〇〇〇〇様

市政などについての意見や要望を議会に提出することができます。このことを請願または陳情といえます。
 請願は、紹介議員(2名または3名)が必要で、議会の審査対象となり、担当の常任委員会で慎重に審査し、本会議において採決を行います。
 陳情は、紹介議員は必要ありませんが、原則として議会の審査対象にはならず、議場に陳情の写しを配付するのみとなります。
 なお、住所・氏名・内容等が市議会だより等で公開されますので、ご了承ください。

※書式例(請願の場合)A4版縦書きでも可。提出者、署名者は住所、氏名(署名または記名押印)をお願いします。
 ※提出先：飯能市議会事務局(市役所本庁舎4階)

請願

「再審法（刑事訴訟法の再審規定）」の改正を求める意見書採択の請願書

提出者

立山 勝憲
採択（多数）

小中学校及び保育所（園）給食の無料化を求める請願書

提出者

飯能市社会保障をよくする会
代表者 野尻 一夫

請願の内容が2つの委員会の所管となるため、2件あったものとみなし、総務教育委員会及び生活福祉委員会で審査し、本会議で採決しました。

請願第2-1号 趣旨採択（全員）

（総務教育委員会は小・中学校について）

請願第2-2号 趣旨採択（全員）

（生活福祉委員会は保育所（園）について）

陳情

水道料金2ヶ月無償に関する陳情

提出者

成毛 正



◆声の議会だより
（市議会だよりの音声版）◆



朗読ボランティアグループ「ひびき」さんのご協力により、市議会だよりを音訳していただいた「声の議会だより」を飯能市ホームページに掲載しています。

◇飯能市の先進事例を視察に来られました◇

市町村議会行政視察受入一覧

月 日	市町村議会名	人数	視察内容
4月24日（月）	愛知県岡崎市議会 会派「自民清風会」	3	エコツーリズムについて

◇埼玉県都市ボートレース企業団を視察しました◇

7月3日、飯能市議会でボートレース戸田を視察させていただきました。

当施設の施行者は、埼玉県都市ボートレース企業団と戸田ボートレース企業団となっています。飯能市は埼玉県都市ボートレース企業団に属しており、他には東松山市、狭山市、羽生市、鴻巣市、上尾市、草加市、越谷市、入間市、朝霞市、さいたま市、春日部市、深谷市、本庄市、加須市の15市となります。



公営競技としての売り上げから、各市への配分金は大事な財源となっています。（令和5年度見込み額 7千万円）



「カーレット」誰もが簡単に楽しめる卓上のカーリング！
(原市場福祉センター)

次回の9月定例会は
9月1日開会予定
会期日程等は8月29日頃内定します。

夢馬と議会の学ぼう

委員会は何をするところなの？

分野ごとに委員会があって、それぞれの分野に関係した議案や請願などを詳しく審査しているよ！

議会を見よう！

一般質問映像を録画配信しています。



議会を聴こう！

本会議や委員会は公開しています。



議会を読もう！

本会議の会議録を公開しています。



議会を調べよう！

会議情報を掲載しています。



編集後記

飯能市は、令和6年1月1日で市制施行より70年目を迎えます。本年は、その佳節を記念する様々な事業が開催されております。昭和29年、埼玉県下では9番目の市として誕生し、昭和・平成・令和へと時を刻んでまいりました。

その歴史を振り返るにあたっては、数多の先人たちの知恵と労苦によって、いまの飯能市が築かれてきたことに、思いを馳せずにはおられません。令和の時代を生きる私たちに言えることは、「温故知新」さながら、過去から学び、いまを懸命に生き、未来に継承しゆく責任を果たしていくことではないでしょうか。このたびの節目を機に、「変わることのないもの」、「変えていくべきもの」について改めて考え、思いを巡らせる次第です。(栗原)

広報委員 委員長 パタソンひとみ 副委員長 栗原 義幸
委員 長谷川順子 関田 直子 滝沢 修
野田 直人

表紙の風景



わせがく夢育高等学校の生徒さんと東吾野地区のみなさんで行った東吾野スポーツ協会、地区行政センター、公民館共催のモルック体験会の写真です。大人も子どもも、みんな一緒に楽しめるスポーツでした。(パタソン)

戸田競艇開催日(埼玉県都市ボートレース企業団主催分) 8/11~8/16、9/21~9/25

お問い合わせ先 埼玉県都市ボートレース企業団事務局 TEL048-823-8711 (収益の一部は飯能市の収入となり、市の事業に活用されています。)